

2013年12月18日

米 IDC 社のアジア太平洋地域のクラウド・DC サービスを評価する レポートにおいて NTT Com が「リーダー」に選出

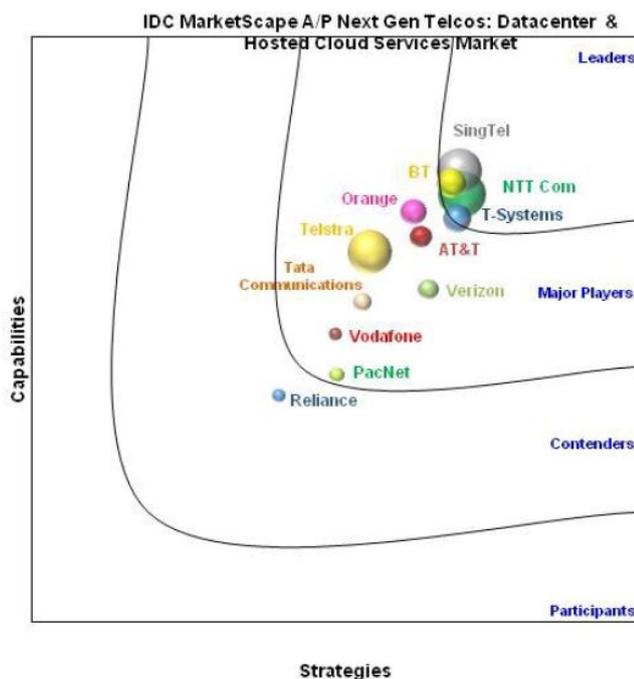
NTT コミュニケーションズ(略称：NTT Com)は、米国 IDC 社 (略称：IDC) が 2013 年 12 月に発行した、アジア太平洋地域においてクラウド・データセンター (以下、DC) サービスを提供する 12 通信事業者を対象とするレポート「IDC MarketScape: Asia/Pacific Next-Generation Telcos: Hosted Cloud and Data Center Services 2013-2014 Vendor Analysis」* (以下、IDC MarketScape)において、実行能力と戦略双方において最も高い評価である「リーダー」のポジションに位置付けられました。

IDC の分析によると、NTT Com は主に以下のような特性を通じてリーダーとしての地位を確立しています。

1. DC/クラウドサービスのネットワーク高度化を SDN 技術によるイノベーションでリード
2. グローバルに連携した DC サービスの提供に必要な広範囲かつ多拠点の DC 展開
3. 先進ネットワーク技術による優れたクラウド提供能力と戦略

<評価対象各社のポジション> (詳細別紙参照)

Asia/Pacific Next-Generation Telcos — Datacenter and Hosted Cloud Services Vendor Assessment

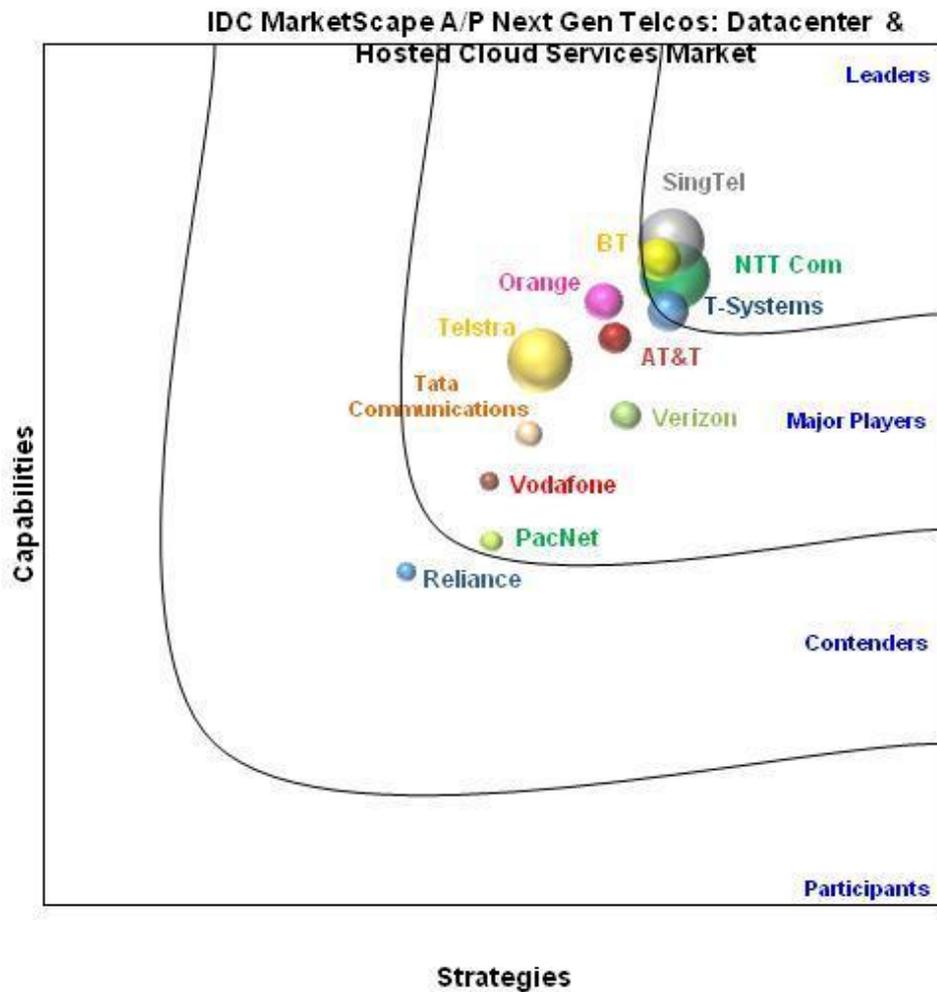


IDC copyright

出典： IDC MarketScape: Asia/Pacific Next-Generation Telcos: Hosted Cloud and Data Center Services 2013-2014 Vendor Analysis, #AP3053513, December 2013

IDC MarketScape のベンダー分析モデルは、IT の競争上の適性やテレコミュニケーション、または特定のマーケットの専門サプライヤーなどについての 概要を見るためのものです。リサーチの手法は、質と量の両面についての基準にもとづいた厳しいスコアリング方法を用い、特定のマーケット中の各ベンダーポジションを1つのグラフィックに示すというものです。IDC MarketScape は、製品やサービス、機能や戦略、そして IT、テレコミュニケーション、専門ベンダーの現在と将来のマーケットでの成功要因を有意に比較することができる明確な枠組みを提供します。また、同枠組みはテクノロジーバイヤーに対し透明性の高い基準も提供することができ、企業は既存のベンダーとこれから取引する可能性のあるベンダーの長所と短所を独自に比較することができます。

(別紙)



上記の図表において、横軸は事業者の戦略性を、縦軸はその実行能力を示しています。事業者ごとの円の大きさは、相対的な市場シェアを示しています。この市場シェアは、アジア・パシフィックエリアにおける、企業や政府からのクラウド・DC サービスに関連する収入サイズを参考としています。なお、この円の大きさは、事業者のポジションを正確に示すため、縮小して表示されていることもあります。

出典：IDC MarketScape: Asia/Pacific Next-Generation Telcos: Hosted Cloud and Data Center Services 2013-2014 Vendor Analysis, #AP3053513, December 2013